

活動報告書

支部・委員会: 総務委員会

開催行事: 第73回通常総会

日時: 令和3年5月28日(金)PM3:30～PM4:15

場所: 仙台市戦災復興記念館 5階会議室

開催人数: 22名(正会員:16名、一般会員:6名)(委任状125名)

総会受付時 マスク着用、検温、手のアルコール消毒を実施いたしました。

司会は、今年度も 仙台南支部 (有)エスオーエス安田 小菅淑人氏にお願い致しました。
マスク着用にも関わらず、アナウンサーを思わせるクリアな声と話し方。
来年も、是非お願いしたいと思いました。(^-)-☆



5月28日現在
正会員数 227名
本日出席の
正会員数 16名
委任状 125名
正会員の過半数の出席により
総会は成立いたしました。

総会会場は3名掛けの机に2名、次の机には1名と交互にお座り頂き、ソーシャルディスタンスを確保いたしました。

宮城代協の礎を
築いて下さった
諸先輩の方々に対し、
黙祷

※飛沫防止の観点から
倫理綱領の唱和は
省略いたしました。



峯岸会長挨拶 （日本代協 金子会長より総会挨拶文が届きましたので、掲載しております。）



議長に選出された 仙台東支部（株）えびす仙台保険 庄司博氏



令和3年度 代協通常総会挨拶

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

会長 金子智明

本日は、通常総会にご出席・ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、行動が制限される中にも関わらず、各地で工夫しながら代協活動を展開していただき、改めて御礼申し上げます。

厳しい環境の中での熱いお取り組みの結果、大阪(V2)、福井(V3)、三重(V2)、京都(V7)、滋賀(V5)、福岡(V3)、鹿児島(V2)、奈良(V7)、岩手(初)、石川(V2)、和歌山(V2)、熊本(V7)、長野(初)の各代協が「ゴールド三冠王」となる四冠を達成されました。

また、長崎(初)、山梨(V7)、宮崎(V2)、山口(V2)、北海道(V2)、徳島(V2)、愛媛(V2)、沖縄(V2)の各代協が三冠王を達成されました。

本当におめでとうございます。

惜しくも三冠には届かなかった代協におかれましても意欲的な取組が展開されたことに深く感謝申し上げます。

さて、本日は私から以下の4点をお伝えいたします。

〈BCP策定〉

1点目はBCP策定についてです。今年は東日本大震災から10年の節目の年です。私たち代理店が、あの未曾有の大災害から学ぶべきことはいくつもありますが、何よりも大事なことは、いざという時、お客さまの万一という時に、医療機関と同じ速さでお客さまを支えられる体制を作り上げることではないでしょうか。あれから10年、皆さまの緊急時の体制は十分でしょうか。

ポイントとなるのはBCPの策定と定期的な訓練、見直しの実施です。さらには、そのノウハウをお客さま企業に伝え、各社の事業継続力強化に貢献することであり、それは今や損保代理店にとって本業そのものと言えます。

日本代協ではこうした認識のもとで、専用のガイドブックやシートなどを活用したセミナーを開催し、BCP策定を働きかけています。また、本年度からBCP策定を事業継続力強化計画認定とともに「三冠王」の自主取り組み項目に追加し、機運の盛り上げも図っています。

BCPが機能しなければ、ここぞという時に代理店の価値は発揮できません。会員の皆さまで取り組み事例を共有しながらBCPの策定・訓練・見直しのサイクルを回してBCP文化を作り上げてください。

<会員増強>

2点目は会員増強です。昨年度は日本代協全体として459店の入会を目標としましたが、324店の入会に止まった一方で748店の退会があり、最終的には11,344店、424店の減店となりました。社会基盤自体の大きな環境変化を前にした合併・統合の動きが大きく影響しており、代理店の数は減っているが、1店あたりの規模は大きくなっている状況です。

厳しい環境が続くことは事実ですが、中長期的に見れば、顧客本位の業務運営を持続的に発揮できる真のプロだけが活躍する環境になるということでもあり、私たちにとってはチャンスにもなります。

同業者団体だからこそその正確な情報や積み重ねられたノウハウを「売り」にして、組織一体となった取り組みを進めていただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、日本代協としては今年も盛り上げを図るために「入会ベース」での取り組みを進めますが、各代協では「増強ベース」で進捗を把握していただくことが肝要です。あわせて、環境変化を踏まえて、募集人数にリンクした会費体系への転換についても組織的な検討をお願いいたします。

<コンサルティングコースと日本代協アカデミー>

3点目は「損害保険大学課程コンサルティングコース」の受講勧奨と「日本代協アカデミー」の利用促進についてです。

コンサルティングコースにつきましては、コロナの影響で集合研修の開催が

次々と見送りになり、計画通りに進めることが難しい状況となりました。

一方で、2021年度の受講者募集に関しては、840名の目標に対し1,284名の受講者を集めて頂きました。コロナ禍の中、工夫を重ねて尽力された会員の皆さま、教育委員の皆さまに改めて感謝申し上げます。

日本代協アカデミーにつきましては、低廉な価格で有益なコンテンツをお届けしながら利用拡大を図っており、昨年度末で利用代理店数 961 店・ID数 6,751 件と徐々にすそ野が広がっています。しかしながら、実数としては依然として縮についたばかりの状況であり、コンテンツの充実と並行して、アカデミーの価値に関する更なる動機付けが課題であると考えます。

保険代理店は人の産業であり、経営者も含めた人材育成・能力向上は代理店成長の最大のポイントであり、学び続けることは生き残りの最低条件となります。

社員の個性や持ち味に合わせた研修計画に基づく能力向上に着実に取り組むために、代理店の代理店による代理店のための継続的教育制度である日本代協アカデミーを是非ともご活用下さい。

「学ぶ文化」を作り上げ、互いを高め合っていければ、楽しさと刺激が同居する環境を生み出すこともできます。是非ともよろしくお願いいたします。

〈環境変化への対応〉

最後の4点目は、環境変化への対応です。

代協活動は、我々代理店がお客様・社会から認知され、やりがいを感じながら生き活きと働くことで社会に貢献することを目指しています。

一方で、環境はこれまで経験したことがないスピードで変化しており、代理店も意識、行動の変革を問われることとなります。「現状維持は後退あるのみ」の厳しい環境は保険会社も同じですが、それを取り越えるための保険会社の戦略と代理店の経営方針が合致せず、様々な問題が起こっている現実があります。

お客様に向かうべきエネルギーが保険会社との間の内部問題に割かれることは極めて非生産的であり、日本代協としても現場の実態を把握し、改善が必要な課題に対しては、具体的な手段を講じていく所存です。

その一つとして、4月27日に金融庁保険課長と代協会長との意見交換会を開催しました。代理店の現場の声を行政の責任者に直接聴いてもらう貴重な機会となりました。ご参加いただいた会長の皆さまには御礼申し上げます。また、時間の関係で、十分に問題意識を伝えられなかった会長の方もいらっしゃったと思いますが、今後も継続的に開催していくことで当局の了解を得ていますので、ご理解賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。

内容については、各代協宛に議事録を配信していますので、ご確認ください。

<政治連盟ご支援のお願い>

以上、4点に絞ってお伝えしましたが、結びの前に、別団体ではございますが、全国損害保険代理業政治連盟について一言触れさせていただきます。

日本代協は定款上、政治団体としての活動はできません。一方で、保険募集に関わる法改正や税制改正、公正・公平な募集環境の整備等に関する法律上の問題等は政治課題となります。従いまして、日本代協の目的実現のために国会対応や行政のバックアップなどを行う組織として政治連盟を組成し、連携しながら活動を行っています。

政治連盟は、会員資格も会費体系もガバナンスも日本代協とは全く別ですが、ベクトルは同じであり、実質的には日本代協と政治連盟は車の両輪のような関係となります。

こうした大局的な観点を是非ともご理解いただき、政治連盟につきましてもより一層のご支援を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

最後になりますが、各代協のますますのご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念いたします。

新型コロナウイルス感染症も変異種が猛威をふるっており、これまで以上の感染防止対策が必要な状況となっています。

くれぐれもご健康には留意されますようお願い申し上げます。

以上

議事録署名人の紹介

仙塩支部 (株)東北保険サービス 名川安彦氏

石巻支部 (有)安田総合 小豆嶋晃氏 にお引受け頂きました。



第1号議案 令和2年度 事業報告 峯岸会長



第1号議案 令和2年度 収支決算報告 若生専務理事



令和2年度 会計監査報告
監事 條川俊哉氏
監事 井林幹明氏



第2号議案 令和3年度 事業計画(案) 小野副会長



第3号議案 令和3年度 収支予算(案) 若生専務理事





佐々木副会長より閉会の挨拶があり第73回通常総会は無事終了致しました。

